

令和2年度 第3回 中部森林管理局 国有林材供給調整検討委員会  
( 概 要 )

1 開催日時

令和2年10月6日(火) 13時30分～16時30分

2 開催場所

中部森林管理局 大会議室

3 検討内容

- (1) 国有林材供給調整対策について
- (2) 情報交換等
- (3) その他

4 検討結果

令和2年7月豪雨や、これまでの価格下落により出材量が減少した結果、製材用原木の一部には価格回復が見られる地域もある。しかし、需要の増加による価格回復は見られず、木材需要の先行きは依然として不透明である。こうした中で、例年原木供給量が増加する秋期から冬期を迎えることとなる。

このため、引き続き公共事業において木材需要の拡大に具体的に取り組むとともに、販売済み立木の搬出期間無償延長の対象を、当面、来年度前半に搬出期限を迎える物件まで拡大することにより、国有林材の供給を調整する必要がある。

5 委員意見等

○製材業界では製品需要の落ち込みは、それほど無いという認識。民国問わず出材していただけると有り難い。

○製品単価が戻るタイミングがいつになるか。集成材は戻っていないし、輸入材等の極端な値戻りは考えにくい。スギ・ヒノキの丸太は無い高ではあるが、一時的な価格上昇の可能性もある。

○立木の伐採適期である秋から冬に出材することは企業として大事であり、付加価値と生産性の向上にも繋がる。

○北米・北洋材は上げ基調で推移していることから、国産材に需要が移行する時期も来ると思う。来春から増産を予定している大型工場もあり、継続的な素材生産をお願いしたい。